

北海道

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
平成29年度の目標とその達成状況

**目標1：精神障がい者地域生活支援センターを中心として長期入院者の地域移行を促進する。**

**【達成状況】**

全道17箇所に標記センターを設置し、ピアサポーター等も活用しながら長期入院者の地域移行に向けた支援を実施している。

平成29年12月末時点で延べ461名に対して支援を実施し、23名が退院しており、今後も退院者は増加する見込みである。

**目標2：精神障がい者地域移行研修を通じ、精神障がい者の地域移行に係る理解促進と地域の支援人材の確保に取り組む。**

**【達成状況】**

道内3ヶ所で専門職等を対象とした人材養成研修、また、1ヶ所でピアサポーターを対象とした技術及び知識の向上（カウンセリング技術等普及）のための研修を開催した。

また、各障害福祉圏域では、一般住民を含む参加者に対して、精神保健に関する知識の普及と啓発を目的とした研修を開催しており、年度末まで継続して取り組む予定。

**平成30年度の実行方針**

1. 精神障がい者地域生活支援センターにおける長期入院者の地域移行促進の取組を継続するとともに、地域の実情に応じて、同センターを通じた退院者の地域定着を進める。
2. 精神障がい者地域移行研修を継続し、引き続き精神保健に関する普及啓発と人材確保に努める。
3. 保健・医療・福祉関係者の協議の場を設置することを目的とし、全道の市町村に対する支援を行う。